

## 1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、古代律令国家による地域支配の実態や地域社会の実像について考察する。地域は多様であり、さまざまな環境のもと、さまざまな歴史的背景を有する。そのため、古代の地域支配の実態や地域社会の実像を考察するにあたっては、特定の地域をモデルケースとして設定して考察することが有効な方法である。前期は武蔵国を主とした坂東(関東)を取り上げる。古代の坂東は、国家から一つのまとまった地域として捉えられ、ヤマト政権の時代には王権の軍事力を支える地域、また律令国家の時代には東北で展開される対蝦夷戦争の後方支援地域となっていた。この坂東を舞台として展開した、国家による支配や交通、民衆の生活、新興勢力の台頭などについて、文献史料だけでなく、発掘調査による考古資料も活用しながら具体的に論じる。

## 2. 授業の到達目標

- ①各種の歴史資料を読解し、その歴史的位置づけや歴史的価値を理解することができる。
- ②歴史の専門的知識をもとにして、対象とする地域や時代のことから論理的に考察することができる。
- ③古代律令国家による坂東支配の実態や坂東の地域社会の実像について理解できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

各回の授業に対する感想・質問を書いたリアクションペーパー(30%)と、期末レポート(70%)で評価する。

## 4. 教科書・参考文献

## 参考文献

川尻秋生 『古代の東国2坂東の成立 飛鳥・奈良時代』 吉川弘文館  
荒井秀規 『古代の東国3覚醒する関東 平安時代』 吉川弘文館  
関和彦 『古代東国の民衆と社会』 名著出版  
川尻秋生 『古代東国史の基礎的研究』 塙書房

## 5. 準備学修の内容

事前に参考文献を読み各自でノートにまとめて授業に参加する。授業終了後に授業内容についてのまとめノートを各自で作成し、期末レポートの準備をする。

## 6. その他履修上の注意事項

毎回、授業内容についてのリアクションペーパー(感想・質問)を提出してもらおう。リアクションペーパーの提出及び教員からのフィードバックはLMSで行う。なお、7の各回の授業内容は、授業の進捗状況により変更することがある。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 授業の進め方、おおまかな授業内容などについてのガイダンス。
- 【第2回】 古代坂東の概要(その1)古墳時代
- 【第3回】 古代坂東の概要(その2)奈良・平安時代
- 【第4回】 坂東の官衙と支配(オンライン授業)
- 【第5回】 古代の武蔵国と国府
- 【第6回】 古代坂東諸国の租税
- 【第7回】 古代安房国のアワビと布
- 【第8回】 古代武蔵国の駅路
- 【第9回】 古代坂東の水上交通
- 【第10回】 古代坂東の村落と文字
- 【第11回】 墨書土器からみた古代坂東の民衆の信仰
- 【第12回】 古代坂東の民衆と仏教
- 【第13回】 大学周辺の郷と集落遺跡
- 【第14回】 平将門の乱と武蔵国
- 【第15回】 平将門の新皇即位